

キーノート

DRIVE with CONECT、 DX（デジタルトランスフォーメーション）で 山梨と世界をつなぐ！

株式会社スクーミー（SchooMy）

代表取締役 CEO

塩島 諒輔 さん

株式会社ワイ・シー・シー（YCC）

ビジネス推進本部 サービスデザイン部 部長

兼 東京支社 統括部長

斉藤 修 さん

☑官民協働のツール

令和2年度山梨県地域活性化協働事業費補助金

オープンデータを活用した
地域課題の解決と地域の活性化

つくることで学び、
つくることでつながる。



オープンデータ化：課題と対策

課題	対策
①県内での 活用事例が少ない	
②公開した際の 効果が不明確	✓勉強会の開催
③公開する際の 項目・レイアウトが不明	✓ワークショップなどの実施
④どんなデータを欲しいのか ニーズがわからない	✓開発したアプリを公開し可視化
⑤活用してもらう 人や団体がいない（知らない）	✓取り組み事例を他の地域に横展開

オープンデータ公開促進活動



つくることで学び、
つくることでつながる。



2020年11月18日、Code for Yamanashiと
山梨県情報政策課との共同事業として、
自治体職員に対して**オープンデータの意義や
効果を理解してもらう**ことを目的に開催
(会場＋オンライン)



(株) YCC会議室にて

令和2年度山梨県地域活性化協働事業費補助金活用事業

オープンデータセミナー

主催 / CODE FOR YAMANASHI 協力 / 株式会社ワイ・シー・シー 株式会社スクーミー
今回のセミナーは、地域活性化協働事業補助金を活用した山梨県との協働事業です

皆さん「オープンデータ」ってご存知ですか？
平成29年5月30日に閣議決定された「世界最先端！T国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」のなかでは、令和2年度までに地方公共団体のオープンデータ取組率100%を目標として推進しています。
しかし、令和2年9月10日時点の取組率は、約49%（872/1,788自治体）にとどまっています。
(山梨県は14.8%、4/27自治体)

自治体職員の中には、オープンデータについて「知っているが詳細はわからない」という方も意外に多いのではないのでしょうか？
また、市民や企業、学生の皆さんは「名前を聞いたことはあるが何のために必要なの？」という方も多いかと思えます。

そこで、今回のイベントでは、**オープンデータの目的や意義、公開方法、活用方法**などについて、
あらためて皆さんとオープンデータを「知る」機会にしたいと思えます。
また、公開する際の課題や、データ活用に向けた取り組み方法、全国的な活用事例なども共有しながら、
公開の促進、活用の推進につながるような『きっかけの場』にしたいと考えています。

日時	2020年 11月18日(水) 第1部 セミナー 13:30-14:30 第2部 ワークショップ 14:30-15:00
会場	株式会社ワイ・シー・シー 会議室 〒400-0035 山梨県甲府市雁野3丁目1-2 https://www.ycc.co.jp/company/base.html
定員	会場 10名 <small>(※予約 100名)</small> 参加費 無料

セミナーは、オンラインでの同時開催も行います。
会場に来なくても参加することが可能です。

ツールは ZOOM を利用します。申し込みの際に、オンライン参加の項目にチェックを入れてください。

お申し込み・お問い合わせ

申し込みはこちらから <https://schoomy.com/seminar/>

何か不明な点があれば、お気軽にお問い合わせください。左のQRコードからの読み取り、下記メールからのお申し込みも可能です。
go@schoomy.com セミナー担当：塩島

プログラム

- オープンデータについて解説します (株式会社ワイ・シー・シー)
- 山梨県の取り組みと市町村への支援について (山梨県総務部情報政策課)
- 市町村の取り組み事例 & 意見交換会
- データ活用事例の紹介 (株式会社スクーミー)
- ワークショップ ※自治体職員向け
 - 利用規約の作成に関して
 - CCBYなどの表記に関して
 - オープンデータとして公開するデータに関して (政府CIOのページに公開されているものを活用する方法)
 - データなんでも相談会

※ワークショップ、相談会のオンライン開催はありませんが、ワークショップのみ配信は行います。

オープンデータはデジタル改革や官民協働を推進するための非常に有効な資源だと考えています。
オープンデータ公開済の自治体職員の方、公開を計画(検討)している自治体職員の方をはじめ、
オープンデータに関心のある企業、学生、一般の方も是非参加していただけますようお願いいたします。

オープンデータ利活用促進活動



つくることで学び、
つくることでつながる。



2020年11月10日、Code for Yamashashiが主催し、非エンジニアでもアプリ開発が出来る「ノーコードツール」の勉強会を開催し、
アプリ開発者の育成支援を目的に実施



CROSS BEにて

SchooMy workshop

ONLINE & OFFLINE

専門知識なしで、誰でもアプリ開発ができる
ノーコードの世界の勉強会 vol.1

2020 **11/10**
18:30-20:00

第1回テーマ：ノーコードを知ろう

最近、世間を賑わせている、『ノーコード』という考え方、ご存知でしょうか？日本経済新聞などでも紹介されており、専門知識なしで、簡単にアプリを作ることができるなど、この普及によって将来のデジタル社会は大きく変わってきます。まずは知りましょう。
今回は、『知る』がテーマですが、今後、『考える』『作る』『活用する』と連続の講座を行う予定です。

対象

- ・会社、団体を経営して、専用のアプリを作りたいけど、断念してしまった人
- ・新しいビジネスを検討中で、アプリを使って何かしたいと思っていた人
- ・ITを活用した地域活性化に興味のある人
- ・アプリ作ってみたいけど、なかなか動けなかった人

実施場所

会場) CROSS BE
オンライン) ZOOM
※Youtubeでも配信します。
会場参加者：10名程度 オンライン参加者100名
参加費：無料



プログラム

18:30-18:40) なぜこのイベントを行うのか (SchooMy)
18:40-18:50) IT人材の育成に関してどんなことをサポートしていきたいか (crossbe様)
18:50-19:00) プログラミングを行わないでアプリを作ることについて (NocodersJapan様)
19:00-19:10) ノーコードツール紹介 & 事例紹介 (Adalo, bubble) (NocodersJapan様)
終了次第休憩
19:15-19:25) ノーコードツール紹介 & 事例紹介 (Glide) (株式会社ワイ・シー・シー)
19:25-19:50) 今後の流れ & 意見交換会
20:00: 終了



QRコードからでもアクセスできます

お問い合わせ & 申し込みはこちらから

<https://event.schoomy.com/c01/>



主催 / 株式会社スクーミー 協力 / CROSS BE 株式会社ワイ・シー・シー 一般社団法人 NoCodersJapan

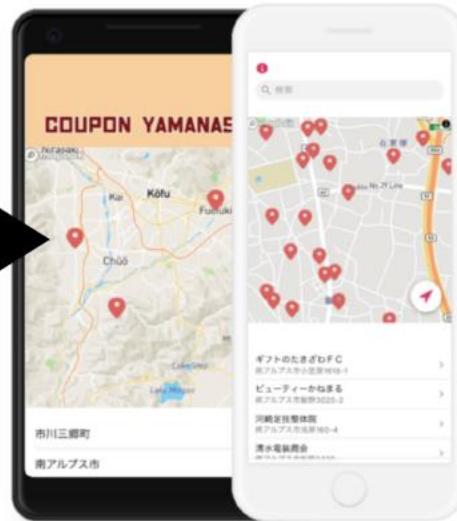
アプリ開発の事例紹介

エクセルの店舗データから、店舗検索アプリを10分で作る仕組み
「クーポンリストメーカー」を山梨県の小中学生が開発し運用を開始

店舗情報（エクセル、CSV）

店舗名	商品名	住所	電話番号	HP	コメント	写真

キーワード、地図検索



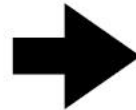
アプリ開発の事例紹介

韮崎市産業観光課と連携し、「チームにらさきエール商品券」が利用できる事業所（259箇所）を簡単に検索できるアプリを短期間で開発し、市の公式アプリとしてホームページやチラシ（QRコード）で発信期間中、1日30人～100人の消費者（市内外）の方に利用していただき、高評価だった。

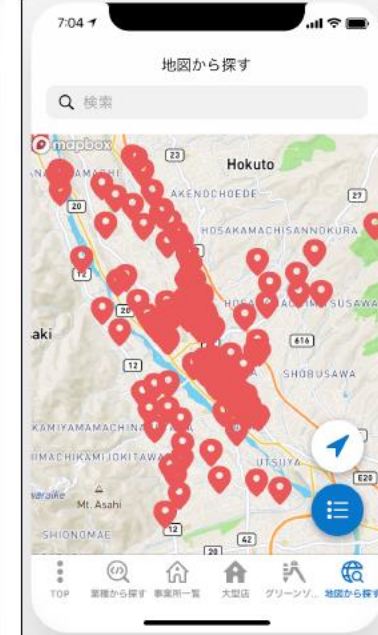
事業所情報（エクセル）

韮崎市が作成

店舗名	商品名	住所	電話番号	業種	取扱品目



業種検索、認証店検索、キーワード検索、検索地図検索



オープンデータ 利活用促進活動



つくことで学び、
つくことでつながる。



山梨県や自治体が公開しているデータを活用したアプリを開発

AED設置場所



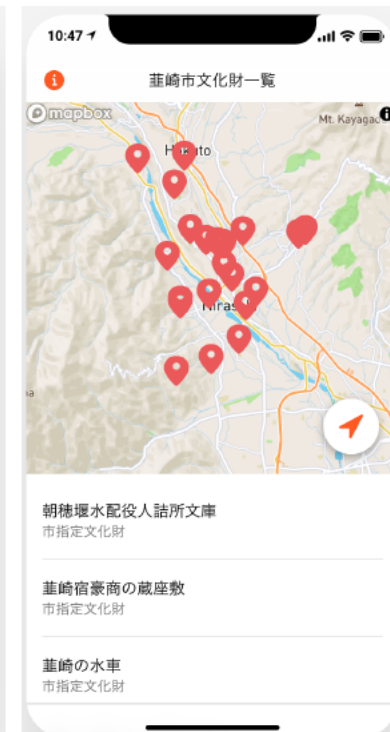
子育て施設



観光施設



歴史・文化財



指定避難場所



今後やりたいこと ワークショップや体験活動

AED設置場所
文化財一覧
観光施設一覧
避難場所一覧
等々

住民・企業・学生等が
参加し、地域に関する
勉強会の開催や必要な
データのニーズ調査、デ
ータを活用したアプリ
を開発など



開発したアプリや調
べた情報を利用して
ワークショップや体
験型イベント（まち
歩き等）を開催

地域を知る（データの把握）、データを活用する（アプリ開発等）、体験する
「住民協働の推進」「地域資源の発掘」「人材の育成」「地域産業の活性化」へ

山梨の事例：テイクアウトできるお店がわかるアプリ



地域の子どもたちが自身で、
2日間で開発、公開



社会貢献



連鎖



大学の授業

連鎖

地域展開

- ex) ・大分 別府温泉
 ・山形
 ・兵庫 など



連鎖



派生開発

連鎖

学習教材

オンライン授業
 で活用できる
 パッケージ



プロジェクトで意識していること

最初に全部決めてから始めるのではなく、現実的なサイズで小さく初めていき、準備期間や当日の様子で徐々に大きくしていく。

意識したこと

- ・規制しすぎてはいけない
- ・1人以上の仲間を集める
- ・続ける、止めるの判断を自分たちの意思で決めることができる
- ・持ち出しの資源から始める



プロジェクトに欠かせない力は、専門性よりも、当事者性！

①見落としがちな視点を提示する力

- ・作って、使ってみて、すぐパワーアップしていくことができるスピードが大事。
- ・使う人が自分でプロダクト開発に参加することや自分自身が行うことで、デザインするための要件を外部から調べるやり方とは違った、チームやことからの内部からしか見えない現場の文脈が思いがけない形で見えてくる。

②当事者自身を力づけ持続させる力

やってやったぜ！感がすごい

作った仕組みの利用者は、ただ使うだけの人ではない。

お客さま的な立場から、作り手に回ることによって、他人事ではない責任感が生まれる。

また、自分たちで自分たちの周りの環境、つまり自分の周囲を変えていくことができたということは、その人の人生に深く刻まれ、勇気とかの力に変わっていく。



子どもたちのモチベーションは？



作ったものが使われ、**誰かのため**になっていること



それは“やるべき事”ではない。

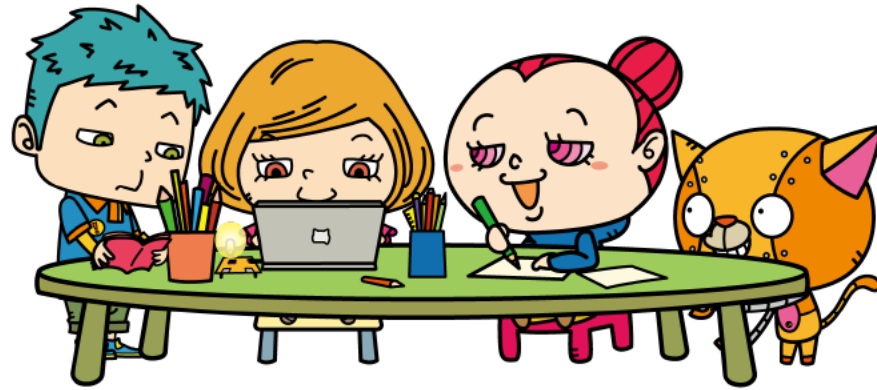
「成し遂げること」
を目標にしてはいけない。

やりたいことを、
やりたいようにやるのだ！！

映像研には手を出すな!



これが、プロジェクトに関わるときに、
自分自身が**専門家**ではなく、**当事者**になるため
に大事なコトだと思います。



まだ知らない次のものを一緒に創っていきましょう。



今回のキーノートの5つのポイント

① 専門性よりも当事者性が大事

② なぜやるのか？誰とやるのか？を意識する

③ モノ（名詞）ではなくコト（動詞）で考える

④ 作りながら考えて、創造力を身につける

⑤ 活動をどう展開していくか考える



☑お知らせ



放送日のお知らせ

TV

NNS日本ネットワークサービス
11チャンネル

◆4月24日(土) 10:00~12:00

◆4月29日(木) 16:30~18:30 ※再放送

〈サービスエリア〉

甲府市・韮崎市・南アルプス市(八田地区)・甲斐市
北杜市(明野町・大泉町・須玉町・高根町・長坂町・小淵沢町)
笛吹市・中央市・昭和町・市川三郷町・身延町

RADIO

YBSラジオ
radiko / FM90.9 / AM765

◆4月25日(日) 19:00~20:30

2/27、3/26の2日間に、県内高校生の活躍の場としてYCC県民文化ホールで開催された「コロナに負けるな! 音楽のチカラ」の様子を、YBSラジオやNNS(11チャンネル)で放送する予定です。

こちらの企画は、新型コロナウイルスにより発表の場を失った学生へ“学生の発信する機会を提供し、演奏活動の活力につなげよう”という目的で開催されます。

学生さんたちを応援したいという思いから、YCCは本企画に協賛しました。

〈参加高校〉

- ・甲府城西高校
- ・甲府工業高校
- ・東海大甲府高校
- ・昭和高校
- ・甲府第一高校
- ・甲府東高校
- ・甲府南高校
- ・甲府西高校
- ・駿台甲府高校

学生さんたちの一生懸命な姿をぜひご覧ください!!!

体験会を実施します！

5月15日（土） 10時から12時

5月22日（土） 10時から12時

